

# Top Interview

トップインタビュー

— 変革に挑む —

まとめ/堀水潤一 撮影/阿部博英

## 弱者である動物を思う心が 人とのコミュニケーションや 社会平和への貢献につながる

学校法人ヤマザキ学園・理事長  
ヤマザキ学園大学・学長  
山崎薫



**ヤマザキ学園**は創始者山崎良寿先生の戦争体験や学徒出陣の経歴を踏まえて、「生命の畏敬」と「職業人としての自立」を建学の精神に掲げ、1967年ペットのスペシャリストを養成する学校としてスタートしました。その後、94年の専修学校認可、2004年の短期大学開学に続き、10年には念願であった日本初の動物看護学部を有する4年制大学を開学するに至りました。45年の長い歴史のなかで本学園は、グルーミングやトレーニングなどのペットのケアを行う専門職の確立だけでなく、動物看護のプロを養成する道を、パイオニアとして切り開いてきました。今やペットは、家族の一員や人生のパートナーという位置づけとなり、「コンパ

ニオン・マル」(伴侶動物)と呼ばれるようになっていきます。それに伴い、小動物診療を中心とした動物医療が高度化・専門化したことで、相応の知識や技術をもち、獣医師のパートナーとして活躍する動物看護職の育成が急務となったのです。

今では動物関連の養成校も増えました。また、動物看護職の資格を認定する5つの団体が09年に協議会を設立させ、12年には全国で統一試験を実施しました。その後、動物看護師統一認定機構(11年設立)が本年2月に試験を実施し、約5000人におよぶ現職の動物看護師と動物看護を学ぶ学生が受験しました。関連団体が二丸となり公的資格化に向け動き出したことは、社会

的認知を高め、職域の拡大につながる新たな一歩といえます。

卒業生の就職先はさまざまな職種にわたります。動物病院はもちろん、動物の検査や研究機関、さらには福祉施設に勤めるケースもあります。認知症の予防などコンパニオン・マルには社会福祉に貢献する役割も期待されています。大学のカリキュラムに「動物介在福祉コース」を用意しているのもそのためです。

また、ペット関連市場は1兆4千億円規模とされています。1万人の卒業生の多くが動物病院やショップ、メディアなどで活躍するほか、独立して経営者となっている者も多数あります。このことは就職活動を控えた在学生にとっても心強いはず。これにとどまることなく、動物看護の分野をさらに切り開くフロンティア精神をもった若い人たちに期待しています。何より大切なのは、動物が大好きで、動物の代弁者になりたいという思いやりの心です。「生命を生きる」という教育理念のもと、弱者である動物の生命を尊く思い、コミュニケーションがとれる人間であってほしいと思います。それが、人とコミュニケーションがとれ、社会平和に貢献できる人材につながると信じています。

【理事長・学長プロフィール】やまざき・かおる ●サンフランシスコ州立大学芸術学部卒業。麻布大学大学院獣医学研究科 動物応用科学専攻博士課程修了。1994年より学校法人ヤマザキ学園理事長。2013年4月ヤマザキ学園大学長に就任。

【学校法人プロフィール】1967年「シブヤ・スクール・オブ・ドッグ・グルーミング」開校。94年専修学校「日本動物学院」(現ヤマザキ動物専門学校)認可。2004年「ヤマザキ動物看護短期大学」開学(12年度開学)。10年「ヤマザキ学園大学」開学。